

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	・利用者の行動に対して、『なぜ』と常に考えるよう理念に掲げているが十分で無い。利用者の思いや希望を中心に『なぜ』を考える必要がある。	利用者の思いや希望を把握し、『なぜ』を考えた介護ができる。	・介護士は介護場面や朝・夕のミーティング等で根拠を常に考えた行動をする。又、管理者からも根拠の問いかけを行なう。 ・毎月のグループホーム会議で「利用者の行動・心理について」を議題にあげ、ミーティングでの意見の再評価や必要であれば再検討を行なう。	12ヶ月
2	26	・利用者の介護計画を常に見ながら介護ができていない。 ・利用者の重点プランをケース担当者が中心となって考え、チームで検討ができるようになる。	・全利用者の介護計画を把握する。 ・利用者のニーズに基づいた重点プランを立て、実施することができる。	・ケース会議では、担当者が利用者のニーズを把握したうえで、重点プランをまず提示し、チームで検討する。 ・介護計画がいつでもすぐに見れるようにファイルし、情報の共有を常に行い、計画書に基づいた介護を実施する。 ・管理者や計画作成担当者は、計画内容について、介護士からの質問や疑問点に助言と提案をし、統一した介護を実施する。	12ヶ月
3	10	・施設には『意見箱』を設置しているが、意見が入ることが無く、家族や訪問者からの意見が聞き取れていない。 ・年3回の家族会議で「ご意見や要望等がありますか」と尋ね、ご家族様の意見を伺おうとしているが、あまり意見が出ていない。又、家族会不参加の方々の意見を伺う機会が少ない。	・家族の意見や要望を表現しやすいシステムをつくる。 ・家族の意見や要望を運営に反映させる。	・家族へのアンケート内容についてグループホーム会議で話し合いをする。 ・アンケートに基づいて、運営や接遇の改善を行い、家族会で報告をする。意見を言って頂きやすい雰囲気のもと、更にご意見及び要望をお聞きする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。